

令和2年度厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）
5 類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究
—ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて—

分担研究報告書

「ドナー管理に関する研究」

研究分担者 ” 西田 修 “

(所属機関・藤田医科大学 麻酔・侵襲制御医学講座 主任教授)

研究要旨

効率的な臓器提供のために、臨床現場で使いやすい全身管理のマニュアルを作成することを目的に、米国集中治療医学会のガイドライン（Crit Care Med. 2015）をベースに作成した第1段階のマニュアルを関係各位のご意見を聞きながらブラッシュアップした。本邦の現状調査アンケートの結果も参考にしながら、本研究に直接関係の無い部分、本邦の実情に合わない部分は省略し、専門すぎる部分や冗長な部分を省略した。使い勝手を考え、Clinical Questions (CQ)-Answer (A) に続いて解説を行う形式とし、「脳死ドナー管理マニュアル Q and A」として完成した。

A. 研究目的

本邦の脳死臓器移植において、効率的な臓器提供（ドナー当たりの移植可能な臓器提供数の増加）のために、本邦の実情に応じた、臨床現場で使いやすい全身管理のマニュアルを作成し普及させる。

B. 研究方法

本邦の5類型施設に対する現状の調査結果をもとに本邦の実情を把握し、ドナー管理における本邦の実情を把握する。国内外の既存のマニュアル等も参考に、本邦の実情も考慮に入れたマニュアルを作成する。

（倫理面への配慮）

- ▶ 臓器提供が決定するまでの期間の対応。
- ▶ ドナー管理時におけるインフォームドコンセントの在り方。

C. 研究結果

Kotloff RM, Blosser S, Fulda GJ, et al.

Management of the Potential Organ Donor in the ICU: Society of Critical Care Medicine/American College of Chest Physicians/Association of Organ Procurement Organizations Consensus Statement. Crit Care Med. 2015;43(6):1291-1325.

の全文訳を行い、その後、内容を吟味しながら編集を行い、内容のダイジェスト作業を行った。

救急医学会はじめ関係団体の意見を入れながら、下記の編集を行った。

- 本研究に直接関係の無い部分は省略した。
- 本邦の実情に合わない部分は省略した。
- 冗長な部分などを簡略化した。
- 5類型施設に対する現状の調査結果を参考にまとめた。

また、臨床現場での使用に供するために、形式をQ and A方式として、タイトルを「脳死ドナー管理マニュアル Q and A」として完成した（資料2）。

D. 考察

米国集中治療医学会のまとめたガイドラインを大変よくできているが、本邦の集中治療の現場と異なる点、明確な根拠のない部分など、今後の対応が必要な部分もあった。独自にエビデンスも収集しながら、本邦の実情に合ったマニュアルを作成した。現場で使いやすいように Q and A 方式として、解説を加えることで利便性が向上していると思われる。実際に現場で使用することで、意見をフィードバックする必要がある。

E. 結論

本邦の実情に合わせた、管理マニュアルの作成が行われた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

未

2. 学会発表

未

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得：

2. 実用新案登録　：なし。

3. その他　：